

## 未来を生きる子供たちへ卒業生からの贈り物

副校長 北村 真

昨年末、本校に1本のトランペットが届きました。地域に住む卒業生の方から「狛江第一小学校の子供たちに何かをしてあげたい」との声があり、本校で力を入れている音楽教育の集大成でもある鼓笛で使用する楽器を寄贈していただきました。母校への思い、明日を担う子供たちへの思い、狛江市（地域）への思い。本校が地域に根付き、そこで学んだ子供たちが卒業し、大人になり、「地域の力」となって本校を支えている。実際にその姿を目の当たりにすることで、改めて創立153年の伝統の重みを強く感じました。



卒業式まであと52日。本校を卒業していく今の6年生を見ていると、その行動力と責任感の強さは目を見張るものがあり、大変誇らしく思います。本校で学んだ6年間の思い出を胸に、未来を切り拓いていくことを切に願います。

### 2月の生活指導

#### 『寒さに負けない体をつくろう』

寒さが一段と厳しさを増し、体を丸め、うつむきながら登校してくる児童を多く見掛けるようになりました。寒いときこそ前を向いて、元気な挨拶で1日を始められるよう、声を掛けていきます。また、インフルエンザなど流行する季節です。学校では、手洗い・換気の声掛けとともに、元気に外遊びをするように子供たちに指導をしています。御家庭でも声掛けをお願いします。寒い朝は、ついポケットに手を入れてしまいますが、学校では、安全のため、ポケットから手を出して登下校するよう指導しています。御家庭でも手袋の着用を促すなどの御配慮をよろしくお願いいたします。

### ふれあい月間

東京都では、毎年、6月、11月、2月をふれあい月間とし、いじめ、不登校、問題行動等の早期発見、早期対応の取り組みを行っています。

年度末が近づいてきました。子供たちも一年間頑張ってきて疲れが出る頃です。トラブルは「心のゆとり」がないときに起きやすくなります。「心のゆとりがないな」と感じたときに「リフレッシュ」できることや、「安心」できる場所、時間があるとトラブルを未然に防ぎやすくなります。

大人も、つい忙しくて「心のゆとり」がなくなりやすくなる時期です。全児童が「安心・安全」な生活を送れるように学校でも家庭でも大人が「心のゆとり」をもち、力を合わせていければと思います。

御協力のほど、よろしくお願いいたします。